

ふだんのくらしをしあわせに♡ ふくし委員会通信

ラポールレター

2024年 創刊号
グリーンコープ生協ひょうご
ふくし委員会ラポール 発行



はじめまして。ふくし委員会ラポールです。

皆さんは「ラポール」という言葉の意味をご存知ですか？フランス語で「橋を架ける」という意味があります。また心理学用語で「信頼関係を築く」ことを意味します。この通信を通して組合員さんと温かい信頼関係を築きたいという願いを込めて、「ラポールレター」を創刊いたしました！

☆ふくし委員会ラポールについて☆

ふくし委員会ラポールが創設されて、今年で3年目となりました。

委員6名、理事&オブザーバー&事務局3名、計9名で楽しく活動しています♡

1年目の委員さんに
ふくし委員になったの
感想を聞いてみました



私は子どもの不登校に関心があり、ふくし委員会に入会しました。福祉にほとんど知識のない状況でしたが、ふくし委員会を通じて少しずつ学んでいくことに充実感を感じています。何も知らなくても、少しずつでも、人のために出来ることをするのが福祉なのだと感じています。ふくし委員会のメンバーの皆さんは優しい方ばかりです。議題について真剣に話し、時にはみんなで笑ったり、和気あいあいとした雰囲気です。まだ新しい委員会なので、自由に意見を出し合えるのも楽しいです。ご興味を持っていただけたら、ぜひふくし委員会をのぞいてみていただけたら嬉しいです。

月1回、主に金曜日に「リードあしや（芦屋市）」または「西宮市立若竹公民館（西宮市）」で、活動しています。地域委員会に入っていないなくてもOK！ご興味のある方はぜひご連絡ください。



ふくし委員会主催で
学習会を行いました

2024年8月23日@芦屋市民会館

FP 円縁さんにきくお金の話

「知っておきたい年金のきほんのき」

学習会開始前から講師の矢野さんが和やかな雰囲気を作ってくださり、皆様もすぐリラックスされている様子でした。複雑な年金制度もギュッと凝縮しながらもわかりやすく説明してくださり、よくあるモデルケースや

矢野さんがご経験なさったケースも紹介いただいたので理解が深まりました。質疑応答では個別の疑問にも親身にご回答いただき、気になっていたことが解決してスッキリできました。年金と聞くと固いイメージがありますが、活用すれば豊かな将来になることがわかり、

終始和やかな学習会をすることができました。

（オンライン参加、会場参加、合わせて26人参加）

＜参加者の感想＞

年金制度の基本を知ることは、老後だけでなく、今のライフスタイルの見直しにも繋がっていくことを実感しました。「年金の電車に乗る」と「加入期間の担保」が大切なキーワードであったと思います。

年金の制度を知って、きちんと自己申請していくことの大切さを学ばせて頂きました。

福祉活動組合員基金(100円基金)の 助成福祉団体より、近況報告が届きました～



🐝 六アイおでかけマルシェ

「親子をタノシム地域をツナグ」を合言葉に活動しています。絵本の交換会や地域団体をつないでのマルシェの開催を定期的に行い、小さなお子さま連れの親子だけでなく高齢者のご利用も増えて、地域の皆さまに大変楽しんでいただいています。助成金を使って場所代やチラシ印刷代を確保できるようになり、次回開催情報を正確に告知できるようになりました。また、不定期で来てもらっていた助産師さんに交通費をお支払いして、定期的に来てもらえるようになり、妊婦さんとゆっくりお話ししてもらっています。



🐝 芸術の森

一般社団法人「芸術の森」は非営利法人で、活動は助成事業のみで行っています。兵庫県から「ひょうごウクライナ支援チャリティ大使」の委嘱、任命を頂き、ウクライナと日本の子どもから高齢者まで異世代国際文化交流を行っています。グリーンコープからの助成金を使ってラミネート機と外付けUSBメモリを購入しました。用途自由な助成金があることで安心して活動に取り組むことができます。ラミネート機ではウクライナ戦禍の子どもが描いた絵を運搬・展示するためにラミネートし、また絵画ワークショップで参加者の絵をラミネートしています。

🐝 立花北子ども会

オセロ大会や七夕、尼北ふれあい夏祭りへの参加など、活発に活動しています。オセロ大会では高学年、低学年、幼児の部に分けてトーナメント戦を行い、上位者を表彰しました。また、七夕では皆で飾りつけした大笹を富松城跡に立てたり、ミニバスケットボールゲームを出店するなど、季節の行事を楽しんでいます。



🐝 学校外の親子の居場所 cozy《コージー》

今年度は助成いただき、誠にありがとうございます。助成金は施設使用料に充てさせていただき、安定して活動ができております。次年度はさらに知名度を高め、地域で孤立しがちな不登校の家庭につながっていただけるようにしていきたいと思っています。

🐝 東灘こどもカフェ

東灘こどもカフェの子どもを中心とした活動を行っています。昨年度は年間 365 日の多世代交流の居場所をオープンしてきました。今年度も子どもの料理教室や、小さなお手伝いやボランティアを推奨するスタンプカードの活動などたくさんのいろんな経験を安価に実施するプログラムを 30 種類くらい実施し、多くの子どもに参加いただきました。ご支援感謝いたします。今後ともよろしくお願いいたします。





スタートライン「ひだまり」

学校に行きにくい子たちのママのおしゃべりサロンとして
アスパシア明石北館8階フリースペースで活動しています。
助成金はロッカー使用料や印刷費用など運営費として
使っています。写真は夏休み中の開催の様子です。
いつもご参加されている方やご協力いただいている
心理カウンセラー、元養護教諭の方、またお孫さんを
心配するおじいさまのご参加などもあり、お子さん
に対する悩みやご自身のことなど、色んなお話をしました。



～100円基金は、グリーンコープひょうごの福祉活動にも活用されています～

- 子育て支援活動 阪神地区子育てサークル、げんきくんのさんだファミリークラブ
- 福祉学習会の開催 4月23日(火) 「生活再生相談室ってなあに」
- 7月 6日(土) 「サカモトキッチンスタジオ かな先生と学ぶ
親子で楽しむ美味しい時間」(食育学習会)

○みんなのおへや「はこぶん」での福祉活動

みんなのおへや「はこぶん」について

今年5月、キープ&ショップ住吉東町(神戸市東灘区)に併設されたお部屋です。居場所スペースや
地域にひらかれた食堂といった福祉活動の場と
して活用され、子どもたちや地域の皆さまなど
多くの方にご利用いただいています。

組合員の皆さまもぜひ、ご利用ください！

みんなの居場所 はこぶん

毎週水曜日 13:00～17:00

子どもたちや地域のみなさんが安心して楽しく
過ごせる場所です。どなたでもご利用OK！

ぐリーン Café

第2水曜日開催

おいしいお菓子とお茶、プラバン作りなどの
ワークショップが楽しめます♪

みんなでごはん

月末の水曜日 17:00～19:00

一緒にごはんを食べましょう♪

子ども：無料 大人：300円



100円基金の活動に賛同された多くの組合員さんに、
毎月100円、拠出いただいています。

ご協力ありがとうございます。

拠出されていない組合員さんは、この機会にお申し込み
いただき、安心して暮らせる街を一緒に作りませんか？

～ふくし委員会ラポールよりお知らせ～

○ふくし委員会主催、学習会情報

- ・ 11月15日（金） 9：45～11：45 西宮市立若竹公民館
認知症サポーター養成講座、GC レトルト商品（大人向けやわらかメニュー試食会）
- ・ 2月 *日時、場所未定

FP 円縁さんによるお金の話 第2弾 資産運用に関する学習会（仮名）

○「ひだまり」「お話ししませんか」について

どちらも組合員でない方も無料でご利用いただけます



ひだまり



学校に行きにくいお子さんをお持ちのお母さまをはじめご家族を対象にお話できる

「おしゃべりサロン」を開催しています。

同じ境遇のママたちとお話できる場になって欲しいと思っています。

現在不登校のお子さんをお持ちの方だけでなく、お子さんの不登校を過去ご経験された方、これからお子さんが不登校にならないか心配な方も是非いらしてください。

「安心して話せる心地よい場所」でありたい、そんな願いから開催場所であるキープ&ショップ住吉東町のお店がclosedの日に開催しております。どうぞお気軽にご利用ください。

毎月第3火曜日 14:00～16:00

※予約不要

場所：キープ&ショップ住吉東町



お話ししませんか



お話しパートナーとして1対1で色々なお話しをしています(*^-^*)

誰かと話してみたい、聴いて欲しい、訊いて（尋ねて）みたい！のただおしゃべりの時間を。。

実はこんなこと考えたり悩んだり、今気持ちになんとか悶々とモヤモヤしている・・・話してみると意外とスッキリ！することも！！

また、口に出して話しているうちに、自分の中にある思いや考えに気付いたり納得したりと、自身の考えが整理整頓出来たり、結論に近付けたりすることもあるようです。

お一人様1回最大90分

※完全予約制（日にち・時間要相談）

場所：キープ&ショップ住吉東町

：アスピア明石北館8F

フリースペース

—編集後記—

ふくし委員会通信「ラポールレター」創刊号はいかがだったでしょうか？100円基金設立の時、安心安全な食べものを買いたいだけなのに、なぜ福祉活動に取り組むのか？というお声をたくさんいただきました。当時の私も同じような疑問がありましたが、いざ推進する立場になったとき、誰かにやってもらいのを待つだけでなく、自分たちで助け合える仕組みがあることをとても心強く感じるようになりました。今の自分には関係なくても、誰かの助けを必要とする時は必ずくる。そして今、誰かのために役立てるとしたらそれも嬉しい。知れば知るほど、素晴らしい仕組みだなと思います。これからも組合員さんの幸せなくらしの実現に寄り添う活動を行っていきたいと思っています。ご意見、ご要望もどんどんお待ちしております！（ふくし委員会委員長）